



木（防衛医大）さんたち、IAP日本支部を支えて下さっている秘書の方々から花束（正確には持ち運びに便利なブーケ）が手渡された。6人の表彰者は雛壇から、IAP日本支部の歴史の一コマ、苦労話と喜びの一端、今後の発展への大いなる期待などを熱っぽく話された。副賞はIAPのロゴの入った万年筆とやはりロゴの入ったインク瓶であった。再度の歓談、会食の後、小西陽一先生（元理事1994-1996、会計監事1997-1998）と石河利隆先生（元理事1983-1985）の祝辞と乾杯のご発声の後、表彰の先生と奥様方の写真撮影をしてお開きとなった。6先生方の益々のご健康とご発展を祈りたい。小川勝士先生（岡山大名誉教授、元理事1980-1982）から丁重なる祝電を頂戴した。

記録のため出席者を記しておくと、招待者の江頭靖之先生と甥の方、石川栄世先生とヒサ奥様、福田芳郎先生と奥様、遠城寺宗知先生と恵美子奥様、鈴木 実先生と妙子奥様、町並陸生先生。現理事・役員で長村義之、牛込新一郎、諸星利男、根本則道、山邊博彦、森 茂郎、橋本 洋、恒吉正澄、加藤 洋、向井 清の先生方。若狭治毅、小西陽一、丸山孝士、石河利隆、三杉和章、羽山忠良、今村哲夫、松本俊治、羽野 寛、池上雅博、熊木伸枝、井野元智恵、梅村しのぶの先生方。賛助会員のサクラファインテックから三好紀夫社長、石塚 悟さん、近藤恵美さん。伊藤多恵子、遠藤郁代、瀧本弘子、家守玉美、松田和子、佐々木洋子さん方の6人。総勢は42+ α 人（芳名帳からカウントしたが、数名記載漏れがあつたようです）。Partyの司会は松原が行つた。

www.english-test.net

新年度を迎えて

会長 長村 義之

1年は早いものです。会員の皆様この1年間どのように活躍されたでしょうか。私もアジア諸国との交流を念頭に置きながらグローバルな視点で病理学を考えたいという気持ちでこ

の1年活動してきたつもりであります。昨年の6月のSurgical Pathology Update(SPU)at Shonanを始め、日韓スライドセミナー、IAP日本支部スライドセミナー・教育シンポジウムなどがあり、また外国ではAsia Pacific Societies of Pathologies(APSP)会議『シンガポール』、USCAP『本年2月23日-3月1日』などがありました。その間に理事の選挙も行いました。

また、松原常任幹事とご相談致し2月18日にIAP日本支部設立40周年記念講演会と懇親会を致しました。当日は、これまでIAP日本支部に大いに貢献された先生方を表彰させていただき、受賞された先生方を囲み楽しい一時を過ごしました（この様子は別に詳しく記載されていると思います）。現在日本支部も会員数604人となり国際的に見てもUSCAPに続き第2位の会員数となりました。また、牛込新一郎前日本支部会長は、現在国際IAPのVice Presidentを努められております。このような日本支部の隆盛を思うとき、諸先輩の息の長いご努力を忘れるることは出来ません。現在40周年記念講演会などを開催するべく常任幹事と企画中であります。

今年も、6月14,15,16日に例年の湘南国際村にてSurgical Pathology Update 2002が開催されますが、Dr.Silverbergと清川先生の子宮内膜の病理、Dr.Jeffrey Myersと松原修先生の肺の病理がテーマです。奮ってご参加ください。また、Amsterdamでは、IAP国際会議が開催されます。名古屋に来られた方々との再会が楽しみです。秋の病理学会の翌日は例年のIAP日本支部主催の教育シンポジウムおよびスライドセミナーが開催されます。来年の1月には、これまでJapan-Korea-Hong Kong-Australia(JKHKA)として開催されてきたアジア・オーストラリアの学術集会がthe 3rd Asia-Pacific IAP Congressとしてバンコクで、また3月には米国WashingtonDCにてUSCAPが開催されます。このような国内外での活動はもとより日本支部としての生涯教育をより充実し力をいれて行きたいと考えています。

SURGICAL PATHOLOGY UPDATE 2002

Uterine Body and Lung Pathology

June 14 - 16, 2002

Shonan International Village Center, Hayama, Kanagawa
主催 : The Japanese Division of The IAP
協賛 : The Japanese Society of Pathology
Course Directors

Faculty

Steven G. Silverberg, M.D. Jeffrey L. Myers, M.D.
University of Maryland Mayo Clinic, Rochester

Secretariat

Osamu Matsubara, M.D.
National Defense Med. Co.



Steven G. Silverberg, M.D.
University of Maryland

Jeffrey L. Myers, M.D.
Mayo Clinic, Rochester

SURGICAL PATHOLOGY UPDATE 2002

の申込について

今回は子宮体部と肺を取り上げます。FacultyはCourse DirectorのSilverberg教授、長村（東海大）、Mayo ClinicのJL Myers教授、清川貴子先生（慈恵医大）、松原（防衛医大）です。参加費は45,000円（IAP日本支部会員）、50,000円（非会員）。2泊3日の宿泊費、食事（1日3食）代、スライド検鏡（事前にスライドグラス配付）、ハンドアウト代などを含みます。参加をご希望の方は、氏名、性別、所属先、住所、電話、FAX番号、email address、IAP日本支部の会員か非会員を記入の上、FAXか、emailでお送り下さい。締め切りは平成14年5月10日。希望者が例年多いので、早いもの順であり、定員50名になり次第、締め切ります。ほぼ同じころに申し込まれた場合は抽選とさせて頂きます。参加決定者にはあらためてご連絡します。防衛医科大学校第2病理、IAP日本支部事務局（松原・佐々木）まで。FAX送信：042-996-5193またはemail: matubara@cc.ndmc.ac.jp

Welcome to Amsterdam

Dear Colleagues,

It is an honour and pleasure for me to invite you, as members of the Japanese Division of the IAP, and your family to the XXIVth International Congress of the Academy in the beautiful city of Amsterdam. Let me explain some reasons why you should

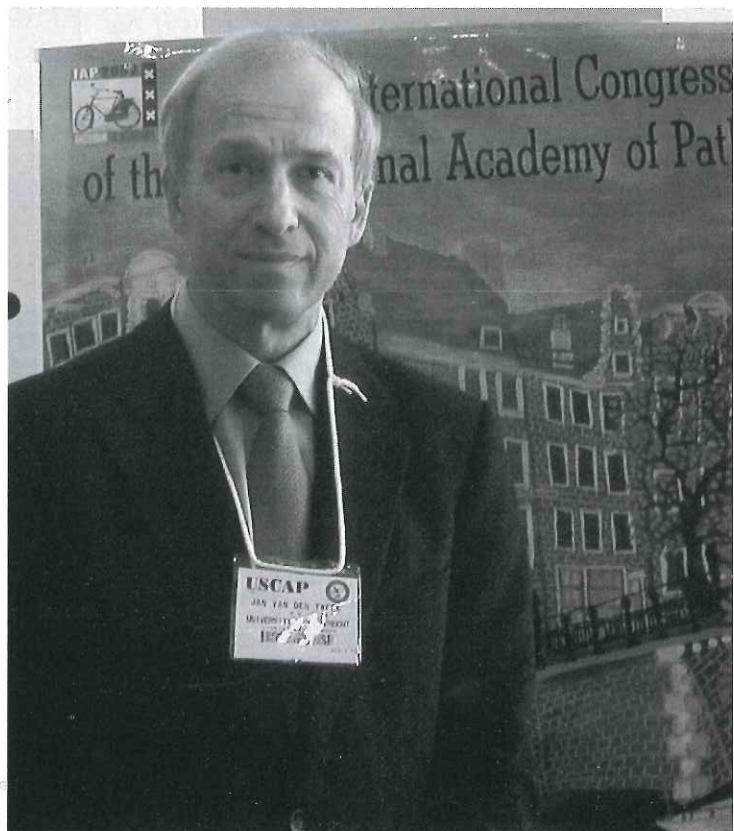
do so.

Come to Amsterdam to attend the Congress. It is intended to be the premier meeting for overviews on topics that are challenging to histopathologists; it will also be a forum for updates and state-of-the-art lectures on recent developments that are of interest to everybody working in this specialty. The growing role of molecular pathology in daily practice will receive special attention. Invited international speakers (95% accepted our invitation) are amongst the leaders in their field, many of them belonging to a new younger generation of experts. In addition to short courses, symposia and slide seminars, the Congress will offer "master classes" in most subspecialties, given by 2 top subspecialists, for a limited number of young colleagues.

Come to Amsterdam to see the city. The Dutch capital, famous for its many canals, is truly picturesque, featuring streets lined with old trees, impressive 17th century mansions, town houses and a thousand charming old bridges, illuminated by numerous lights at night. The unforgettable centre of history and culture offers fine museums such as the Rijksmuseum with its famous collection of Rembrandts, the Stedelijk museum known for its modern art collection and the Van Gogh museum with a collection of Vincent's most famous paintings. In addition the lively city offers all kinds of entertainment. The Concertgebouw, the Opera, theatres, and of course hundreds of fine restaurants are looking forward to your visit.

Come to Amsterdam to see Holland. During the Congress we will offer you a variety of tours to the most exciting places in the vicinity of our capital. Historic and beautiful cities on the list include Delft with its famous blue pottery, The Hague, seat of the Dutch government with the International Court of Justice, and the old fisherman's villages around the IJsselmeer. If you want to visit Holland on your own, you can use the excellent railway system that takes you everywhere in the country in a relatively short time. Or why not rent a car and see everything by yourself.

Come to Amsterdam because you do not want to miss this unique combination of business and pleasure, or you will no doubt regret it when you hear the stories afterwards. We are all looking forward to welcoming a large number of Japanese delegates and their partners in October 2002 to peaceful, exciting and beautiful Amsterdam.



**Jan G van den Tweel MD, PhD.
President of the Congress**

第1回理事会について

2002年度第1回IAP日本支部理事会

日時：平成14年02月18日（月曜日）16:30-17:30

場所：東海大学校友会館「霞の間」（霞が関ビル33F、千代田区霞が関3-2-5、電話3581-0121）

出席予者：長村、牛込、諸星、恒吉、森、橋本、加藤、向井、根本、山邊、松原、佐々木洋子（事務局）

欠席者：真鍋、赤木（岡山大）

議題について

報告事項：

1. 平成14年度 IAP日本支部役員体制について

-----平成14年度 IAP日本支部役員名簿-----

| | |
|------|---|
| 会長 | 長村義之（東海大学総合診療学系 病理診断学） |
| 前会長 | 牛込新一郎（京浜予防医学研究所診断病 理センター／東京慈恵会医科大学） |
| 次期会長 | 諸星利男（昭和大学医学部病理学第1） |
| 常任幹事 | 松原 修（防衛医科大学校病理学第2） |
| 理事 | 森 茂郎（東大医科学研副所長・ 人癌病因遺伝子分野） 橋本 洋（産業医科大学病理学第1） 真鍋俊明（京都大学基礎病態学） 恒吉正澄（九州大学医学部病理学第2） 加藤 洋（癌研究会癌研究所病理部） 向井 清（東京医科大学病理学第1講座） 根本則道（日本大学医学部病理学） 会計監事 山邊博彦（日赤と歌山医療C病理部） |
| 教育担当 | -----平成14年度 IAP日本支部理事指名委員会----- |
| 委員長 | 牛込新一郎 |
| 副委員長 | 鈴木 実（桐生短期大学看護学科） |
| 委員 | 丸山孝士 社本幹博（藤田保健衛生大学総合医科学 研究所病態細胞学） 山邊博彦 |

3. 2002-2003年の事業計画

1. 支部総会 岡山大学赤木教授のお世話の下で、
11月16日（土曜日）
2. 教育セミナー開催 同上
教育シンポジウムとスライドセミナー
3. SURGICAL PATHOLOGY UPDATE 2002 開催
湘南国際村、6月14-16日（金一日曜日）
4. 支部結成40周年記念事業
5. A News Bulletin発行、4回
6. 日韓を始め国際IAP支部との友好関係事業
7. IAP本部との緊密な連係
8. Lab Invest, Mod Patholの安価購入の仲介
9. WHO分類の安価購入の仲介

4. 種々のAward(賞)新設

1) IAP日本支部・功労賞

受賞資格：IAP日本支部会員

受賞対象：長年のIAP日本支部の発展への貢献

USCAPのThe F K Mostofi Distinguished Service Awardに相
当、選考は理事会による

2) IAP日本支部・病理診断教育賞

受賞資格：IAP日本支部会員

受賞対象：長年の病理診断学の教育への貢献

USCAPのThe Distinguished Pathologist Awardに相当、選
考は理事会による

3) IAP日本支部・病理診断学術奨励賞

受賞資格：若手（40才未満）の病理医

受賞対象：前年に公表された診断病理分野における優れた
英文業績（1編）、USCAPのThe Benjamin Castleman
Awardに相当、選考は特別委員会による、最大3名、副賞

10万円

4) IAP日本支部・特別功労賞

受賞資格：IAP日本支部会員以外のIAP会員

受賞対象：長年のIAP日本支部の発展への貢献

選考は理事会による

5) IAP日本支部発足40周年記念特別賞

受賞資格：元IAP日本支部会員役員

受賞対象：発足初期のIAP日本支部の発展に貢献

選考は理事会による

以上の5種類の賞を新設する。3)以外は賞状と副賞（現金
以外）で、3)は最大3名、副賞10万円とし、細かい点を引
き続き、山辺委員会（委員長、加藤理事、真鍋理事、事務局：
松原）にて詰める。

5. Laboratory Investigation and/or Modern Pathologyの雑誌
の購入について、LIの市場価格（年間）：43,500円に対して
IAP会員（年間）：12,000円、Modern Pathologyの市場価格
(年間)：31,200円に対してIAP会員（年間）：12,000円と
1,000円値上げをお願いした。ドル換算のレートで、学会が損
も得もしないように細心の注意を払っていますが、最近の円
安（1ドル=128円）で計算をした（2001年12月末）。

6. 2002年度の教育シンポジウムとスライドセミナーのテー
マアンケート実施

7. 関連の国際学会

USCAP Chicago 2002年02月24日-03月01日 Chicago

Amsterdam Congress 2002年10月05-10日

The 3rd Asia-Pacific IAP Congress 2003年01月21-23日
Bangkok, Thailand

8. その他

審議事項：

1. 教育シンポジウムのテーマの検討：松原
アンケートの集計結果（添付書類参照）

2. スライドセミナーの新コースについて：根本教育委員長
アンケートの集計結果（添付書類参照）

3. 教育セミナーの会場について：岡山大学医学部、赤木忠
厚教授にお世話になること

4. 来年、2003年の教育セミナーの会場について：加藤先生
が世話人、日程

5. 種々のAward(賞)の具体的な選考方法などの検討：（委員
長、山辺理事）

6. Surgical Pathology Update 2002の進捗状況：（長村会長）
テーマは、「子宮体癌と肺病理」で、FacultyはSilverberg教
授と清川貴子先生（慈恵医大）、Mayo ClinicのJeffrey L.
Myers先生と松原を予定。日程は平成14年06月14-16日（金
土日曜日）。場所は同じ湘南国際村センター。

7. The 3rd Asia-Pacific IAP Congress：（長村会長）
2003年01月21-23日にBangkok, Thailandで。

8. 本日の支部結成40周年記念事業

Partyの開催

IAP日本支部結成40周年記念特別賞

9. その他

* * * * *

添付書類

#教育Symposiumのアンケート結果

<技術的なテーマ>

- ・パラフィン切片からの遺伝子検索、例：マイクロダイセクション 橋充弘 兵庫県立尼崎病院
- ・治療に直結した病理診断：免疫染色を中心に、現在と未来、
例：HER2/neu, CD20, c-kit (ST1-351) 橋充弘
- ・迅速診断の精度管理・精度向上 橋充弘
- ・病理診断に有用な新しい抗体の活用法と注意点 鎌田義正
弘前大学
- ・病理診断に有用なPCR法の活用法と注意点 鎌田義正
- ・免疫染色の日常診断への用い方 泉美貴 東京医科大学
- ・パラフィンブロックを利用した遺伝子診断（前田 盛、広

